

# 令和3年度事業計画

## (大きな家庭 愛の家族)

円福寺愛育園

円福寺愛育園は、大きな家庭である。職員と子どもたちは愛で結ばれた家族である。

円福寺愛育園に措置された児童は憐れではない。可愛そうでもない。

児童は縁あって円福寺愛育園に措置されたことを誇りにしよう。毎日の生活に心を満たして運命を切り拓こう。

職員は縁あって円福寺愛育園に奉職したことを誇りにしよう。本当の福祉(児童養護)に目覚めて、子どもたちに尽くそう。地域に尽くそう、社会に尽くそう。国家に尽くそう。それが本当の幸せであることを、自身を通して子どもたちに示そう。

### 1. 事業運営方針

円福寺愛育園は、発達障害児を含めたどんな児童も受け入れて幸せにできるように、養育力を高めます。

#### 1. 円福寺愛育園の児童養育の目的

措置された児童の最善の利益は、彼らが「幸せな生涯を送ること」です。

愛育園に措置された18歳までの限られた期間で、子どもたちに「幸せな生涯を送る」(運命を乗り越える)ための基礎力をつけます。

#### 2. 円福寺愛育園の児童養育の目標

児童は在園中に自己を伸長して、卒園時には自立する力をつけて進学または就職します。

#### 3. 目標達成の要点・・・心の養育

(1) 創立以来続いている朝夕のおまいりは子どもの心の養育の柱です。「おまいり」の姿に、声に、子どもたちの心が表れます。愛育園の心が表れます。正しい姿勢で大きな声でおまいりします。

(2) 美しい生活環境は、美しい心を育てます。生活環境の整美 整理整頓に努め質を高めます。

(3) 集団の喜びや楽しみを生かした、創造的な行事を切れ目なく実施します。すべての行事に児童も職員も全力で取り組み、最高のレベルを実現させます。

(4) 日常の集団遊びを重視します。職員は子どもたちと一緒に遊び、自然体験をし、思いっきり体を動かします。

(5) 子どもたちが日課の意義を理解し、自分から日課の質を上げるように育てます。毎日の生活に一生懸命に取り組むことの楽しさと向上の喜びを経験させます。

(6) 心の養育に食事の重要性を認識し、美味しい手作りの食事を提供します。

食事で心を満たします。子どもたちが親になった時に愛育園で食べた行事食を懐かしみ、作れるようにします。

- (7) 心が満たされて「安心」を感じた子どもたちは、表情が変わります。職員に寄ってきます。職員との間で愛着を形成し、さらに心を満たします。
- (8) 心を満たした子どもたちは、自己変革、自己実現の毎日の生活に、自ら積極的に取り組みます。職員は、子どもたちの自己伸長を全力で支援します。

#### 4. 日常の円福寺愛育園養育の中で

- こどものとの対話を重視します。対話の技術を高めます。振り返りの対話で、子どもに心を顧みさせます。褒める対話で心を伸ばします。
- 児童に将来像（夢）を描かせ、意識させ、愛育園の生活はその実現のためにあることを自覚させます。

## 2 重点事業

1. 児童の安全確保、権利擁護、施設内虐待未然防止  
地域住民、警察、ボランティア、関係団体と協力して児童の安全確保に努めます。  
また、児童が一人の人間として、その尊厳にふさわしい養育・児童の状態に応じた支援を行い、万が一にも施設内に置いて虐待が生じることがないように、日々の養育に当たり虐待の未然防止に取り組みます。
2. 児童の発達に応じた養育の推進  
児童の発達段階や個性に応じた養育を、日常的なかかわり等の中で行うとともに、性的問題行動や非社会的行動の未然防止及び発生後のケア等に努めます。  
発達障害等の課題を抱えて入所する児童の増加を踏まえて、職員各自が研修を深め子どもの個性や課題に対応したきめ細かな養育をすすめます。
3. 児童の心理療法の充実  
虐待等による心理的外傷のための心理療法を必要とする児童の増加に鑑み、心理療法を充実させ、児童の安心感・安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り、もって児童の自立を支援します。
4. 職員の資質向上・チームケア体制の実践確立  
職員それぞれが自己成長・自己実現ができるように、自己啓発支援を行い、キャリアコンサルティング等の職員研修を重視し職員の資質向上を図ります。職員組織の養育の一貫性や継続性・客観性を確保するため、職種・職員間の信頼感に基づく強力なチームケアを行っていきます。
5. 学力向上  
学力向上は自立の力になります。日課の中で小学校、中学校、高校のそれぞれに対応した学習時間を設定し、全員が勉強するようにします。プロ学習指導者を導入して、児童個々の学習指導を充実させます。また、目標を持たせて学習する意欲を醸成します。塾や習い事を奨励して向学の気風を育てます。
6. 家庭復帰の促進・家庭支援の充実

入所児童、保護者、児童相談所等関係機関と連携し、家庭支援専門相談員を中心に、入所児童の早期家庭復帰を図るとともに、家庭復帰後の児童の健やかな育ちを支援するため、保護者指導を含め家庭支援の充実を図ります。

#### 7. 里親委託の推進

里親支援専門相談員を配置し、児童相談所、市町村、里親会等関係機関と連携して、里親制度の普及及び里親委託の推進を図ります。

#### 8. アフターケアの推進

卒園後の児童の生活が安定し、自立していくように職員によるアフターケアを推進して充実を図ります。

#### 9. 地域貢献

児童福祉センターと施設とで力を合わせて、児童福祉の基幹センターとして地域貢献します。施設の子は地域の子どもたちと共に、児童福祉センターを利用したさまざまな行事に参加して交流を深めます。

### 3 具体的な養育

#### 1. 施設内虐待はさせない。行わない。

年度当初に自筆による「誓い」を提出します。職員相互で児童に対する不適切なかわりを防止します。ホーム長は児童虐待防止係主任を兼ねて、職員の養育の責任者となるとともに、子どもたちの様子にアンテナを張って、力による指導や不適切な指導は小さな芽のうちに摘みます。威圧、強要、暴力、暴言、差別で子どもを指導しません。児童間で威圧、強要、暴力、暴言、差別等をさせません。力のピラミッドは、小さな芽を見逃さずにつぶします。

#### 2. 生活指導

基本的な生活習慣が確立するよう、児童の発達に合わせ対話を重視した個別指導を行うとともに自治会等の活動を支援して、行事等の自主活動の活性化を図り、共育の生活をします。

職員は空間的、時間的な死角の把握に努め、それを共有してチームワークで死角をなくして生活指導上の問題を事前に防ぎます。

問題行動をチャンスととらえ、直ちに対応し、粘り強い対話と指導に努めます。一旦言い出したことは改善するまで指導し尽くします。

#### 3. 人間関係づくり

行事や日々の集団遊びや個別遊びを職員は子どもと一緒に積極的に行い、子どもとの人間関係をつくります。人間関係が、子どもに言葉が入る基礎になります。

地域の自然や公園を利用して子どもたちを連れ出して思いっきり体を動かすとともに豊富な自然体験をさせます。

普段の生活では、子どもの甘えに応えることにも心を配り、子どもが心を満たすようにします。

発達障害児の特性を理解して、子ども同士のトラブルを未然にあるいは小さなうちに防ぎ、仲良く過ごすことの大切さを教えます。丁寧に話し、対応し、児童にストレス

の耐性をつけます。状況を理解し受け入れて過ごすことの大切さを教えます。

誕生日には、希望する誕生日メニューとともに担当から児童にお祝いのお手紙を送り、全員で祝います。

#### 4. 学習指導

学習習慣を確立して基礎学力の向上を図ります。学習遅滞児や特別支援学級児に対して、学校と連携してきめ細かな指導を行います。

プロ家庭教師の会を導入し、職員が一緒になって児童の学習にきめ細かに対処します。

#### 5. 自立の支援

卒園後の「夢」を意識させ、生活に目的を持たせます。年長児にはアルバイトを積極的に支援して、自立のための力をつけ、資金を作ります。高校三年生には、奨学金の申込み、就職先等の決定、免許取得、アパートの決定、アパート生活の助言など、具体的できめ細かに支援します。

#### 6. アフターケア

退所児童には、愛育園に毎月手紙を書くように指導します。必ず返事を送り、絆を切れさせません。退所後も必要に応じて訪問・面接等を行い、円福寺愛育園が大きな家庭であるように、生活や悩み事等の改善ができるように支援します。

また、退所後自立した児童にとって円福寺愛育園は家庭の役割を持つことに鑑み、困った時や躓いたとき等に、いつでも帰って気軽に相談できるよう、相談体制の充実を図ります。

退所児童で志を持つ者が円福寺愛育園の職員として戻れるように育てます。

#### 7. 日課

日課（特におまいり）の意義を理解し、園児が自から進んで日課に取り組み質を高めるように支援します。

#### 8. 行事

集団生活の利点を生かします。そして、行事は前年の経験を活かし、新しい内容を加味して最高のものを創り上げます。職員と児童が協力し、全力を尽くして、園の最高を発揮します。準備の過程で、挨拶、必要備品管理、食事づくり、後片付け、助け合い、おもいやり、困難に立ち向かう心等を育みます。

行事で心を満たし、それが日課（普段の生活）に反映するようにします。

#### 9. 自治、自治会

生活の中の子どもの言動や子ども同士の関係を、子ども自身で考えさせます。力のピラミッドの些細な気配を壊します。リーダーを育成して、子どもたちの力で行事の準備をして、行事を充実させます。

#### 10. 食育

初代園長の言葉の「調理は愛なり」で食育に当たります。心身が健全に発達し、一人一人が年齢・能力に応じた望ましい食習慣を身につけるようにします。ホーム食やキャンプなどでは買い物、調理、片付けを通して、食育支援を行います。調理職員と子どもたちの絆を強めます。

調理員と直接養育職員は毎月検便を実施し、衛生管理を徹底し、衛生講習を実施する

等食中毒防止に努めます。様々な調査を踏まえ、楽しい食事になるように努めます。  
食堂の環境に配慮し、季節感のある窓面をつくります。  
箸技大会を実施して、箸使いをはじめとした食事マナーを育成します。  
誕生日には、その子の好きなお料理を作り、全員で食べて祝います。  
季節の食材を生かし、日本の伝統行事のお料理を子どもたちに提供します。

#### 11. 社会資源の活用

希望者にはピアノ教室、書道教室等に通わせ、持っている力を伸ばします。少年野球は円福寺愛育園が主催して地域の子どもたちと共にチームを作り、大会に参加します。地域の児童を巻き込んだ大会（円福杯少年野球大会）を主催します。  
安曇野リレーマラソン、松本平 3 時間リレーマラソン、須坂マラソン、箸技大会等の外部団体主催大会に積極的に参加して、一般の方々と交流して児童の力を伸ばします。西横田育成会や篠ノ井中央地区運動会に参加して、地域との交流を深めます。

#### 12. 円福寺愛育園の資源と施設を使った社会貢献

円福杯球技大会、箸技大会、愛育園祭、愛育園運動会、地藏盆を主催して地域の皆様や関係者との交流の場にします。  
西横田 P T A 節分会、交通安全教室、少年野球、クリスマス会等に施設を開放し、地域の子どもたちと交流するとともに、地域の行事に貢献します。

#### 13. 篠ノ井地区や西横田行事への参加

篠ノ井中央地区運動会、虫送り、どんど焼き、区民運動会、文化祭等に積極的に参加し、地域に貢献するとともに、地域の皆様と交流します。

#### 14. 小学校、中学校との懇談

通明小学校、篠ノ井東中学校と毎年一度の懇談会を主催して、子どもの情報を共有し、先生方との関係を深めます。子どもの生活の場を見てもらい、愛育園への理解を深めます。食事を一緒にしてもらって、子どもたちと交流します。

#### 15. 環境美化、整理整頓

環境美化は子ども達の心を美しくする基本です。職員は常に環境美化と整理整頓に心がけます。積極的に環境美化や清掃に取り組み、師弟同行で清掃等を行います。

#### 16. 防火・防犯・防災

避難訓練を実施して、いざという時の素早く安全な避難につなげます。（毎月）  
地域の避難施設として、地域と連携して避難訓練を行います。（年に一度）  
円福寺愛育園独自の総合避難訓練を実施します。（年に一度）

#### 17. 区民との交流、地域活動への参加・奉仕活動

虫送り、地藏盆、お花まつり、お涅槃会、球技大会、運動会、しめ縄づくりなど、地域の大人や子どもたちと一緒に行事に参加します。  
長栄会（西横田地区高齢者の会）で歌などのプレゼントをして、喜んでいただくとともに、喜んでいただけることの喜びを体験します。

#### 18. 開かれた施設

月刊「おもいやり」を発行し保護者、学校、児相、県、西横田各家、支援者をはじめとしたすべての関係者に配布し、園の活動や子どもたちの様子を知らせます。保護者へ

は担当が子どもの様子を書いた手紙を添えて、「おもいやり」を届けます。

民生児童委員等の見学を積極的に受け入れます。

ホームページには、会計報告等を掲載します。子どもの近況等を随時掲載します。見学会・インターンシップ・求人情報のページを充実させて、応募に結び付けます。

#### 19. 苦情解決の充実

第三者委員と連携して、苦情は小さなうちに解決します。職員は子どもの表情から心を見抜き、対話に努めて子どもの悩みを解決します。第三者委員には行事のご案内を送ります。

#### 20. 第三者評価

三年に一度の第三者評価を受審して、その結果を愛育園の経営に生かします。不実施年は自己評価を実施します。

#### 21. 愛の花園

1年間の実践の記録の冊子「愛の花園」を作成します。内部資料として、事業報告や翌年の実践に生かします。実践を積み上げ、振り返られるようにします。新任職員は愛育園の養育を理解します。第三者評価や自己評価の結果も掲載します。

### 4 積極的な職員採用と育成

#### 1. 見学会とインターンシップ 職員採用

見学会を実施して、大勢の学生が当園を知る機会をつくれます。平常日インターンシップ（土日 日帰り又は宿泊）と行事インターンシップ（運動会、愛育園祭、箸技大会）を企画します。見学会をインターンシップにつなげ採用試験の応募を増やします。

#### 2. 開かれた養育と職員育成

中舎制園舎の特長を生かして、ホーム長の養育方針のもとで一致した方針で子どもを育てます。子どもの対応が互いに見えるので、実践の中で職員は学び、養育力を高めます。

#### 3. ホーム会議と職員育成

職員会の開催日の午前中にホーム会議を設定します。日々の子どもの行動を具体的に出し合い、職員は心を開いて対応を話し合います。発達障害等の児童の養育については、関係する本を読み合わせて児童の具体的な行動に照らし合わせ、ホーム会議を研修の場とします。話し合いや、研修で職員の養育力を高めます。

#### 4. 職員会議と職員育成

園長は、国の社会的養育方針を理解し、園の将来像と養育方針を職員に示します。また、児童の養育についてもホーム長と対話をもとに、方針を示します。

ホーム長はホーム会議の内容と指導方針を全職員に周知します。全職員は子どもの状況を理解し、それを踏まえてそれぞれの立場で子どもに対応します。

調理主任や庶務は一週間の予定等を周知します。

職員会議を通して、お互いに理解して、力を合わせて一致した方針で子どもを育て、養育力を高めます。

#### 5. 引継ぎ会と職員育成

9時（朝）と14時（昼）に引き継ぎ会を開きます。

職員は引き継ぎノートに児童の帰園後の様子や、児童にした指導や振り返りの内容を具体的に記載し、朝の引継ぎ会で報告します。記載できない就寝から朝の登校時までの様子も報告します。園長は報告内容について質問し、理解し、確認して、必要な指導を加えて昼の引継ぎ会につなげます。昼の引継ぎ会では、朝の引継ぎ会の内容を含めて、引き継ぎノートの内容を遅番と泊りの勤務職員に伝えます。遅番と泊りの職員は、引き継いだ内容を受けて、子どもたちを指導します。こうして、引継ぎ会を通して職員は連続した指導を連携して行います。職員は連続連携指導の輪の中に加わることによって養育力を高めます。

#### 6. 研修と職員育成

発達障害等の特性を抱えて入所する児童の増加を踏まえ、職員各自が研修を深めます。オンライン発達障害研修講演会を視聴できるように設備を整えて、全員で聴講します。発達障害関係の本を購入し、必要なものは職員全体に配布して、各自が読書して養育力を高めます。

このほかにも、必要な研修を取り入れ、養育力を高めます。

## 5 令和3年度行事

園内行事			地域との合同行事	学校・外部・ボランティア行事
メイン行事	全体行事	調理行事		
毎月の行事	避難訓練 学習教室	お誕生日会 誕生日外食	少年野球	
4月 始業式	始業式 新任式 初顔合わせ会 マラソン練習開始	入学進級お祝い バーベキュー大会	少年野球発足式	入学式
5月 善光寺ウォーキング	GW行事 創立記念日 母の日 復興のひまわり種蒔	GW行事 創立記念日 よもぎ団子づくり 母の日	花見堂づくり お花まつり(釈尊降誕) 中学校との懇談会	牛にひかれて善光寺 ウォーキング
6月	サツマイモ植え リレーマラソン 父の日	端午の節句 運動会キャラ弁 ホーム食 父の日	少年野球田毎杯	松本リレーマラソン 小学校運動会 焼肉招待
7月	七夕まつり 新しい行事 キャンプ準備	七夕メニュー 土用丑の日	小学校との懇談会	
8月 キャンプ	キャンプ お盆行事 夏休み行事	お盆メニュー おやつ作り	虫送り 地藏盆	
9月 運動会	運動会	ステーキ食 お彼岸団子おはぎ キャラ弁 少年野球壮行会	円福杯少年野球	
10月 愛育園祭	愛育園祭準備 愛育園祭	パンバイキング ハロウィンおやつ	篠ノ井中央公民館運動会 PTA遠足 区民球技大会 西横田区文化祭	松本平3時間リレーマラソン
11月 TDL	七五三	さんまおでん大会 焼き芋大会	茶臼山植栽ボランティア	小学校音楽会
12月 クリスマス会	初代園長御命日 箸ピー練習開始 イルミネーションづくり 消防避難訓練 クリスマス行事	御命日メニュー クッキーづくり クリスマス お餅つき	しめ縄づくり クリスマス会 少年野球練習納め	クリスマスケーキプレゼント
1月 箸ピー大会	初詣 大黒天大祭 お正月行事 箸ピー大会	おせち料理 七草がゆ 鏡開き	しめ縄集め どんど焼き	雪合戦大会
2月 ドッジボール大会	スキー行事 ドッジボール大会	バレンタインチョコづくり	節分会	箸りんぴっく 茶道体験
3月 卒園式	お涅槃会 卒園式 春休み行事	ひな祭り お別れ夕食会 やしょうま 受験応援メニュー 卒園お祝メニュー お彼岸おはぎ 手打ちそば	児童会歓送迎会 少年野球卒団式	卒業式